



発行所  
楽只社会福祉協議会  
発行人 後藤 重義  
編集者 広報委員会

### 楽只社会福祉協議会 研修会・懇親会

六月十九日(日)午後五時開会 ルビノ京都堀川

六月十九日、ルビノ京都堀川「みやこの間」において、五十七名の参加者を得た社協総会(研修会・懇親会)が開催されました。

後藤重義会長の挨拶に続いて、佛敎大学教育学部長の原清治先生による講演会が行われました。

『ネットいじめと人権』というテーマで、パワーポイントによるプレゼンテーションを用いた約一時間のご講演をいただきました。

若者・子ども達の間には蔓延するネット世界の「いじめ」の様子について詳しくお話をいただき、「知らない」では済まされない『恐ろしい実態』とともに、家庭・地域ぐるみでなすべきことについてもご提案をいただきました。

休憩を挟んでの懇親会では、はじめに、長年にわたって社協の諸団体の長として、また副会長として活躍いただきました大林博さんが四月にご



他界されたことに対して、出席者全員で哀悼の意を表し、代表で日下部副会長からこれまでのご活躍と叙勲の報告がなされました。

その後、大森北区長からご挨拶をいただき、楽只小学校の成賞校長の音頭で乾杯へと移りました。

美味しい料理も運ばれ、楽只学区の各種団体からの参加者全員の親睦を深める会が和やかに進みました。

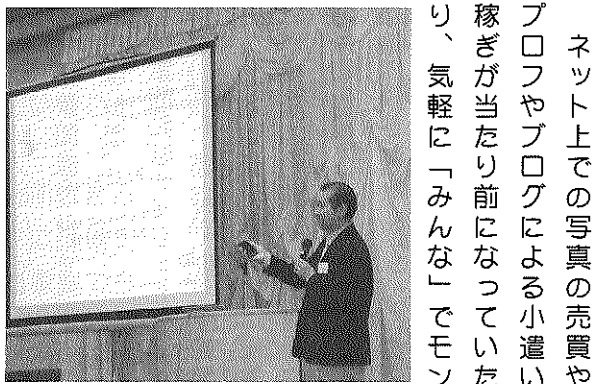
最後には皆で楽只小学校の校歌を声高らかに歌い、参加者の気持ちをひとつにすることができました。

#### 講演会

#### 『ネットいじめと人権』

佛敎大学教育学部長・原清治先生の講演会の概要を報告させていただきます。

- 一、ネット社会と子ども達
- 二、大人には見えない世界
- 三、いじめの今日の特質
- 四、ネットいじめと人権



ネット上での写真の売買やブログやブログによる小遣い稼ぎが当たり前になっていたり、気軽に「みんな」でモン

スターを「狩る」ゲームや、ネット上で「自分」を装飾するゲームが流行ったりするなど、おとなには非常に見えづ

- 一、いじめの偽装・隠蔽
- 二、共依存関係のいじめ
- 三、立場の逆転現象
- 四、ネットいじめ

が挙げられる。相手が誰かわからないことで『別人格』を演じられたり、

#### 北いきいき市民活動センター(旧楽只コミュニティセンター)はNPOくらしネット21が指定管理者に

楽只社会福祉協議会に参画する各種団体を母体に「NPOくらしネット21」が設立されて、今年で7年目を迎えました。旧楽只コミュニティセンターが北いきいき市民活動センターに名称が変わり、指定管理者制度が導入され、「NPOくらしネット21」が指定管理者として委託を受け、貸館業務や日常の管理運営をはじめとする施設の維持・管理や各種事業を行うことになりました。

#### 楽只夏まつり「盆おどり大会」

日時：8月13日(土)午後5時から9時  
場所：楽只小学校 \*雨天の場合は講堂  
内容：模擬店(ゲーム・飲食コーナーなど)ダンス・カラオケ・盆踊り



お問い合わせ：北いきいき市民活動センター (TEL492-7320)

「NPOくらしネット21」(楽只夏まつり盆おどり大会実行委員会)が主催として取組まれる楽只夏まつり盆おどり大会も楽只小学校で開催してから5年目を迎え、地域の恒例行事に定着してきました。

今年も各種団体のご協力をいただき、子どもからお年寄りの方に楽しんでいただける盛り沢山の催しを企画しています。学区内にお住まいの皆さんをはじめ、知人・友人の方々もお誘いの上、お気軽にお越しいただきますよう、お願いします。なお、高齢者の皆さんの送迎バスも運行していますのでふるってご参加下さい。

#### 2011年度 楽只社会福祉協議会

##### ●楽只社会福祉協議会の目的

本会は、学区民の福祉の増進を目的とする団体で結成し、社会福祉事業を組織的、効果的に運営することを目的としています。

##### ●楽只社会福祉協議会役員

会長 後藤 重義 副会長 日下部 亨 岩崎 昭廣  
後藤 直 山崎 久子

#### 団体長「異動」のお知らせ

- ◇楽只消防分団分団長 森田 武史 氏 (花ノ坊町西部)
- ◇楽只保健協議会会長 田中 孝 氏 (下御輿町南部)
- ◇楽只献血共済会会長 井ノ口 勝彦 氏 (上御輿町)
- ◇楽只保育所所長 三宅 文子 氏

# 火災防止のためのお願い

楽只消防分団



学区民の皆様、平素は消防団活動にご協力頂きありがとうございます。さて、今年に入り7月5日現在で北区管内では火災が11件発生しております。因みに昨年1年間の北区管内の発生件数が13件ですから、この数字がいかに多いかがお解り頂けると思います。其のうち、楽只学区で2件の火災が発生しました。楽只消防分団と致しましては、巡回、広報を強化して、火災発生の防止に努めたいと思いますので、各ご家庭でも次の事にご注意下さい。

- ①放火防止の為に、家の周りに燃えやすい物を置かない
  - ②喫煙される方は灰皿に必ず水を入れる
  - ③火を使つての調理中は、その場を離れない
  - ④子どもさんの居るご家庭はむやみにライター・マッチ等を放置しない
  - ⑤仏壇の有るご家庭は、ローソクやお線香の取扱いに注意する
  - ⑥電気コード(特に延長コード)は、束ねたりタコ足配線をしない併せて定期的に、コンセントに溜まった埃を掃除する(溜まった埃が湿気を吸うと、そこから出火して火災の原因になります、普段動かさないタンスの裏や冷蔵庫の裏は特に注意が必要です)
- 以上宜しくお願い致します。

## 2011年度 楽只学区 「ふれあいサービス事業」実施計画

事業名	事業対象	実施期日
配食サービス	3B ... 十二坊町、花の坊町、南花の坊町	5/28(土)
	1B ... 市営住宅6~15、21~23棟	6/11(土)
	2B ... 十二坊町、上御輿町、下御輿町、若草町、西舟岡町、長者ヶ丘町	9/24(土)
	3B ... 十二坊町、花の坊町、南花の坊町	11/12(土)
	1B ... 市営住宅6~15、21~23棟	12/3(土)
	2B ... 十二坊町、上御輿町、下御輿町、若草町、西舟岡町、長者ヶ丘町	1/28(土)
会食会	昼食とお茶の接待(区民運動会)	10/9(土)
	長寿の集い(北いきいき市民活動センター)	10/22(土)
	ふれあい給食会(楽只小学校にて)	2月中旬
茶話会	楽只学区成人式	1/9(月)

### 楽只体育振興会

学区民の皆様、日頃は体振活動にいろいろご協力頂きありがとうございます。今年度の最初の行事は六月十二日の学区民グラウンドゴルフ大会でした。心配していた天気も持ち直して何時もナイターで練習・競技をしておられる方や町内でチームを作つて頂いた参加者で行いました。皆、和気あいあいの内に親睦を深めました。

一方、ソフトバレーボール大会は参加者が少なく中止となりました。

日常的にはナイターでソフトバレーボール(月・金)硬式テニス(土)グラウンドゴルフ(月・木)をしています。多くの仲間を迎えて楽しく余暇を過ごして頂きたく、是非皆様のご参加をお待ちしています。

今年度の楽只学区民大運動会は十月九日(日)【雨天の時は十日】に予定しています。近日常に皆様方のお宅に広告や賛助会員のお願いに伺いますので、宜しくお願い申し上げます。

今日、地域の人と人とが心を合わせ絆を深めて協力することの大切さを痛感しています。体振活動が学区民の健康増進と住民協力の場となるようがんばってまいります。今後ともより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

### 楽只女性会

平素は女性会の活動にご協力を賜り、誠に有難うございます。女性会では春の総会、秋のバス旅行など会員相互の親睦を図りながら和気あいあいと楽しく女性会活動を行っております。

また、今年度からは社会福祉協議会より「ボランティア保険」「福祉行事保険」の加入もできるようになり、安心して各行事に参加して頂ける事になりました。そして、今後の活動体勢を視野に入れ、若い年代の会員を募る等、よりパワフルな楽只女性会を目指していく所存です。

更に今年度より、アルミ缶回収・古紙回収に加え、天ぷら油のリサイクル回収も始めました。皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



### 春の受賞

#### 故大林 博氏に

#### 『瑞宝単光章』叙勲

大林 博氏は、楽只社会福祉協議会副会長また楽只消防分団長として五十余年の長きにわたり楽只学区の自治活動の要としてご活躍をいただきました。

この度(四月十五日)のご逝去にともない現役の消防分団長としてのご功績をたたえ門川京都市長より特別功労賞が贈られました。

また、叙勲として「瑞宝単光章」が、ご遺族様に伝達され、ご受賞されましたことを、謹んでご報告させていただきます。

### 市民憲章推進者表彰

去る六月二日、京都公会館会議場に於いて「市民憲章推進者」の表彰式が行われ、当学区から永年にわたり児童や高齢者を対象とした地域の福祉活動に積極的に取り組む、健康で心豊かに暮らせるまちづくりに貢献したとして門川京都市長より受賞されました。

○市長表彰 山崎 久子氏 (上十二坊町)

### 市民憲章推進北区長表彰

去る二月十五日には、北区役所で次の方々が表彰されました。

○区長表彰 扇副 繁光氏 (下十二坊町)

○区長表彰 杉山 勝氏 (下十二坊町)

○区長表彰 澤田英之助氏 (西舟岡町)

- 天ぷら油リサイクル回収**
- 月1回 第二土曜日 10~12時
- 回収場所は次の三カ所です
- \* 下御輿町南口
  - 小島美智子さん宅前
  - \* 南花ノ坊町中部
  - 三田村澄子さん宅前
  - \* 中十二坊町
  - 竹井恵美子さん宅前
- アルミ缶回収**
- 毎月最終水曜日(夏は月一回)
- 古紙回収**
- 月一回 第三土曜日

## 楽只自主防災会総合訓練

楽只自主防災会 副会長 田中完治

6月19日、前日の雨も上がりグラウンドで訓練ができました。今回は東日本での大震災の影響があつて、学区民の参加者170名もの方々が参加くださいました。行政、北消防署、消防分団、学校関係の皆さんの協力をいただき、訓練ができました。救急法、救出救護と今年初めての車椅子の使い方の指導を受け、段差の上がり下がり、プレーキのかけ方、狭い所での回転の仕方など、熱心に取り組んで頂きました。楽只学区もお年寄りが増えており、災害緊急搬送時には非常に役立つと思われました。

災害はいつ起こるかわかりません。常に心構えを持っていることが大切です。

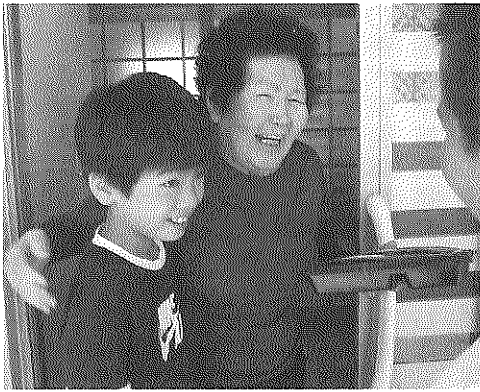
### あたたかなふれあいの「配食ボランティア」

楽只小学校

成實 孝之

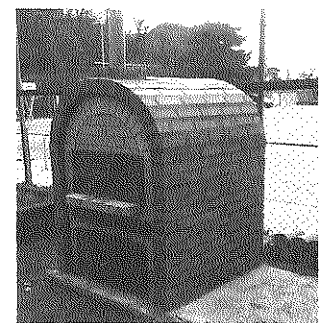
地域の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

今年度も、楽只社会福祉協議会の老人福祉員さんやボランティアの方々と共に、一人暮らしの高齢者宅にお弁当をお届けする「配食サービス事業」にボランティアとして六年生が関わっています。「どうぞ、食べてください」とあたたかい言葉を届けると、お年寄りから「ありがとう」の言葉と笑顔をいただき、思わず、子ども達からも「ありがとう」の言葉と笑顔が飛び交う「配食ボランティア」の取組を進めてくれています。



このようなお年寄りとのふれあい活動を通して、楽只を愛する子ども達に成長してくれると確信しています。

みんなで楽しく活用しましょう



学校園に石釜が完成しました！

学校ふれあい事業で「楽只あやじの会・楽只PTA」が中心になり、楽只学校の学校園に石釜を作りました。六月二十六日にはお披露目の会が開かれ、ピザパーティーが行われました。みんなで楽しく活用しましょう。

## 子どもたちの笑顔

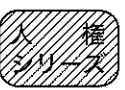
PTA会長 日下部 潔

子どもたちの顔が日に日に日焼けをして行く姿を見ていると健康的な生活をしているのだなあと痛感します。

今、福島県では東日本大震災による原発事故の影響もあり、窓は閉め切り、校庭やプールでの学習が制限された生活をされています。また、京都市の学校給食についても、関東地方産の食品については放射能検査をして、子どもたちに安心安全な食材が提供されていることも新聞報道されていました。

毎朝、校長先生と子どもたちを校門で迎え、子どもたちが笑顔でハイタッチしてくれる当たり前の光景が出来る幸せを感じ、子どもたちが夢を持ち、心豊かに健やかに育っていくことを願う毎日です。

そして家族の絆や人と人との関わりや昔ながらの近所付き合いの大切さを今一度考え、早くて簡単便利なことだけに価値を求める世の中のしくみを見直す時期に来ています。ご家庭で今一度、家族会議を開いてみてはいかがでしょうか。改めて気付くことがたくさんあるのではないかと思います。



## 心のとびろ「歴史」編

日本の歴史をたどっていくと、日本の文化や伝統を支えてきた人々の存在に気がつきます。

足利義政は、同朋衆という阿弥号をもつ芸能者たちを登用しましたが、その中には作庭の才能を認められた善阿弥がいました。善阿弥は「泉石（庭園のこと）の妙手」と謳われ、「山を造り、樹木を植え、石を配す、天下第一」と賞賛されるような腕前の持ち主でした。

善阿弥ら庭造りの仕事をする人たちは山水河原者と呼ばれました。革なめしや染色な

ど川の水を使う仕事、水運を利用した運送業、河原を舞台にした芸能などです。河原の石や砂を利用して造園に携わる山水河原者もその中から現れました。

また、銀閣寺には、銀沙灘という砂の造形があります。ここにも山水河原者の技術の伝統が流れているのかもしれない。

こうした歴史を正しく理解することによって私たちは、日本の歴史をより広く、より深く理解できるはずです。「出典 部落史ゆかりの地」(楽只小同和主任 土井則夫)

## 「今、保育所では」

楽只保育所 三宅文子

四月、楽只乳児保育所と楽只保育所が併設化され、新たな楽只保育所としてスタートしました。現在、0歳児から就学前までの一四一名の子どもたちが在籍し、元気に登所して来ています。「たくさん遊んで、いっぱい食べて、ぐっすり眠る」ことを大切に、生活リズムを整え、人と人との関わりを大事にした保育を進めています。友だちとふれあい一緒に遊ぶ中で、笑ったり、泣いたり、怒ったりしな

## 児童館 新任のごあいさつ

さから 相良 みほ 帆 美



四月一日から、あっという間に三ヶ月。大きなランドセルに緊張した面持ちで学童クラブに来ていた一年生も、今ではこんがり「プール焼け」で日々元気にたくましく、「ただいま！」と帰ってきてくれています。

そんな一年生と一緒に、四月から「職員一年生」。縁あって、学生時代から楽只児童館の子どもたちとかわらせていただき、「遊びを通して子どもを育む」という職員の仕事、ここ(楽只)で子どもたちに囲まれながら、たくさんの先生方や地域の方々よりご指導を賜り「子どもを育むプロ」として成長したいと魅力を感じ、今回の着任に至りました。

学童クラブ児童、自由来館児童、乳幼児親子さん…児童館はたくさんの出会い溢れる地域の子育て支援の核であります。まだまだ未熟な私ですが、ご指導を賜りながら、毎日の子どもたちとの出会いを大切に、一人ひとりに寄り添いながら、思いっきり遊び、ホッとできる空間を、より良くしていけるよう努めます。これからも、地域の皆様の温かいご支援をよろしくお願いします。

がら、人間形成の土台作りの時期にいろいろな経験をさせておいていきたいと思っております。先日、中学生が、チャレンジ体験学習で保育所に来てくれました。保育所の子ども達からは、「お兄ちゃん先生、お姉ちゃん先生」と慕われ、「今日は来やはらへんの?」「今日は来やはらへんの?」と、土曜日も子どもたちは心待ちにしていました。中には、楽只保育所修了児の姿もあり、その成長ぶりに目を見張りました。思春期を迎え大人びた姿の中にもあどけない姿もあり微笑ましく感じました。子どもたちを地域の財産として考え、皆が手をつなぎあい、子どもたちの成長をともに喜びあい、見守っていける温かい保育所でありたいと思

## ラジオ体操

7月21日(木)~8月19日(金)

早朝7時30分より

紙屋川公園(土・日曜日休み)

朝、気持ちいいよ~!

続けてみようね!

楽只少年補導委員会



